

第5回測定所まつり 講演していただいた内容

【落合栄一郎さん】（カナダ在住 生物無機化学者）

放射線は見えない、臭わない、聞こえない、感じられないが、健康障害を引き起こします。

広島や長崎の原爆被害はもちろん、鉱山病（ラドンによる肺がん）、ウラン精錬場、核実験場（兵士と住民のがん発症率の増加）、などです。原発も通常運転時に放出されるトリチウムの影響などが大きく、アメリカの乳がん分布と原発分布が重なります。核施設（核兵器製造工場や原発）の事故は何度も起き、住民の犠牲が増えています。劣化ウラン兵器による被害もあります。医療で使われることの影響も。

福島原発事故のあと、心筋梗塞死やアルツハイマー病死などに増加が見られます。アルツハイマー病死はチェルノブイリでも見られました。

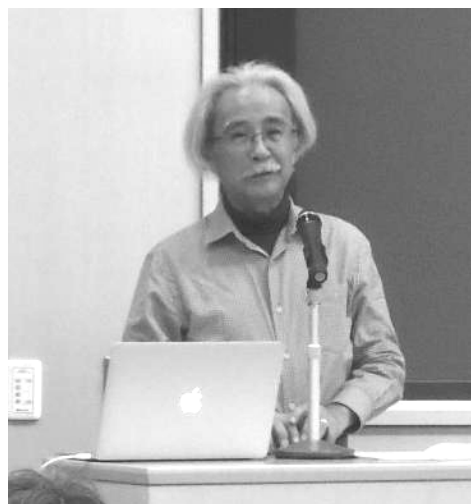
（そのほか、たくさんの方の健康影響について紹介いただきました。）

低線量では内部被曝が重要です。外部被曝は透過力のあるガンマ線などが主ですが、内部被曝は全ての放射線が影響、特にアルファ線、ベータ線の影響が大きく、通常シーベルトで表現される値の数百倍の影響を受けます。

放射線の危険性は、小さなエネルギーでも致死量になることです。1個の放射線粒子は、理論上2万個の化合物を破壊します。少なく見積もっても2000個の化合物を破壊します。生命は、こうした破壊力には抵抗できません。

甚大な健康障害（特に脳障害）を引き起こす放射性物質をつくり出す核産業をいつまで続けるのか？ 人類の自殺行為です。

（※落合さんの熱弁で、最後は時間不足になってしまいました。特に後半部分をもっと詳しく聞きたかったという感想が多かったです。）



【山田耕作さん】（京都大学名誉教授）

日本学術会議は2017年7月28日、臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会の報告を承認し、9月1日に発表しました。

報告の内容は、福島原発事故による被曝の影響を否定し、がんは増えないとか、健康被害を否定するものです。事故による放射能放出量も過少評価、内部被曝の影響も過少評価したものです。

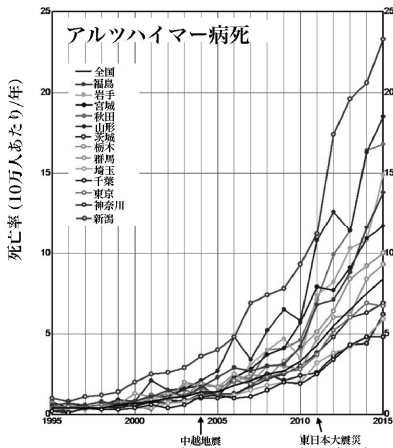
そもそもリスクマネジメント分科会の委員長は佐々木康人氏（原爆・原発訴訟で国側証人をつとめた人）で、副委員長は山下俊一氏（健康影響を一貫して否定）です。顔ぶれを見ただけで何を言うかわかるような人達ですが。



汚染の現実と被曝の危険性を全く無視することは、単なる過ちではなく被災者を切り捨て、未来を担う子どもたちの健康と命を奪うことになります。こんな報告は撤回されるべきです。学術会議報告は科学者の総意を正しく反映し、人類に正しい選択をもたらすものでなければなりません。

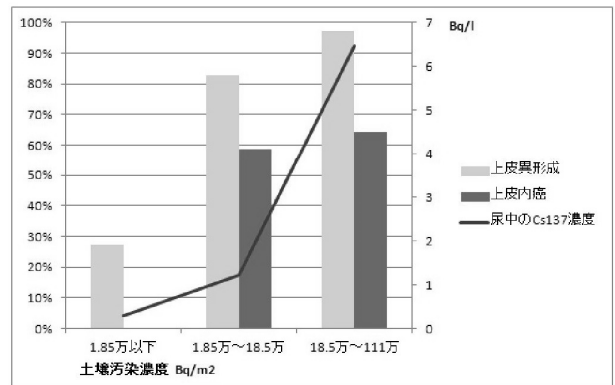
福島原発事故後の周産期死亡率の上昇や、福島県民健康調査でも2巡目で2年以内に小児甲状腺がんが発見され、しかも線量の高い所で多く見ついているという分析結果も出ています。

チェルノブイリ膀胱炎も、線量の高い所ほど発症が大です。心電図異常もそうです。チェルノブイリと同様の被曝被害の拡大が危惧されます。健康調査を地域的にも、大人を含めて年齢的にも拡大し、尿や血液検査も含めて公表すべきです。費用は国が責任をもって行うべきです。



(7) 原発
(a) 福島原発事故とアルツハイマー病死

チェルノブイリ膀胱炎



【本行忠志さん】(大阪大学大学院・放射線生物学教室教授)

チェルノブイリは被曝量が多く、福島は小さいと言われますが、チェルノブイリ事故の被曝量はどう見積もっても、ほとんどが200ミリグレイ(200ミリシーベルト)未満です。

ウクライナの小児甲状腺がん患者(手術時14歳以下)の53%は100ミリグレイ(100ミリシーベルト)以下の低線量被曝でした。15%強は10ミリグレイ(10ミリシーベルト)未満で発症しています。低線量被曝だから大丈夫という論理は成り立たないと考えます。

また、放射線感受性には個人差があります。

アルコールに弱い人がいるように、放射線に非常に弱い人がいます。(遺伝子も大きな要素)だから病気になるしきい値は個人個人で差があります。マウスの実験例では、同じ兄弟でも8匹のうち1匹が、ヨウ素131の甲状腺への取り込みが数倍も大きかった結果もあります。(他にも貴重な実験例を本行さんに紹介していただきました。)

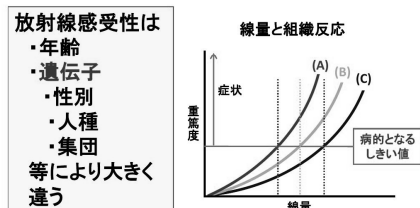
放射線障害で最も恐れるのは、それが一瞬の被曝であっても細胞・遺伝子などに起きた傷が残り、将来のがんや遺伝的影響に結びつくことです。内部被曝の場合、放射線を出すもの自体が長期的に体内に存在しますので、注意しすぎることはありません。



放射線感受性には個人差がある

アルコールに弱い人がいるように、放射線に非常に弱い人がいる。

例・B, Cは平気でもAには影響が出る



しきい値(しきい線量)は個人個人で異なる